

- ① 地場企業の発展を図るためにも、高度化資金や金融面の活用だけでなく、新しい企業の立地を促進して、県経済全体の活性化を考えなければならない。
- ② これからは農・林・水産物に付加価値をつけるため、加工・流通の高度化をはかることが重要。
- ③ エネルギーと食糧の次は情報だといわれている。付加価値の高いソフトウェア企業の立地は、地域の発展に大きな役割を担うだろう。



明日の熊本を担う人づくり

県勢に活力をよみがえらせる基礎は人づくりにあります。教育県熊本としての伝統をふまえながら、将来、いかなる時代にも、英知と創造力をもって柔軟に対処できる人づくりのために、新しい教育県熊本を目指します。

まず、幼児期から高等学校までの基礎的な教育の過程で、高い資質と能力をもった人間性のかん養と、国際的感覚を備えた個性ある人材が育つための教育環境の整備を進めます。

また、学校教育とも連動させながら、生涯にわたる県民の学習意欲にこたえる機会を充実させてまいります。



人間性のかん養と国際的感覚を備えた個性ある人材を

成熟した社会の基礎づくり

本格的な高齢化社会の到来が予測される今のうちに、お年寄りが、生きがいを持って社会参加ができる環境づくりが必要です。このために、就労機会の確保や保健医療の充実など、高齢者対策を先行的に

に推進します。

また、心身障害者などの恵まれない人々が、地域の人々の思いやりに支えられ、生きがいを持って生活できる環境づくりとして、在宅介護施策の充実や、ボランティア活動の活性化などを積極的に進めます。



活力ある地域づくり
——地域の特性を生かしながら進められるほ場整備

活力と個性ある地域づくり

豊かで多様性に富む恵まれた自然環境の中で、それぞれの地域が持つ優れた条件を生かしながら特色ある地域づくりを推進し、地域間に格差を生じないようにバランスのとれた県勢の発展を図ります。現在、過疎問題、水俣病問題、構造不況の問題などを抱えていますが、それぞれの地域にふさわしい振興策を、市町村や関係団体と協力して推進します。